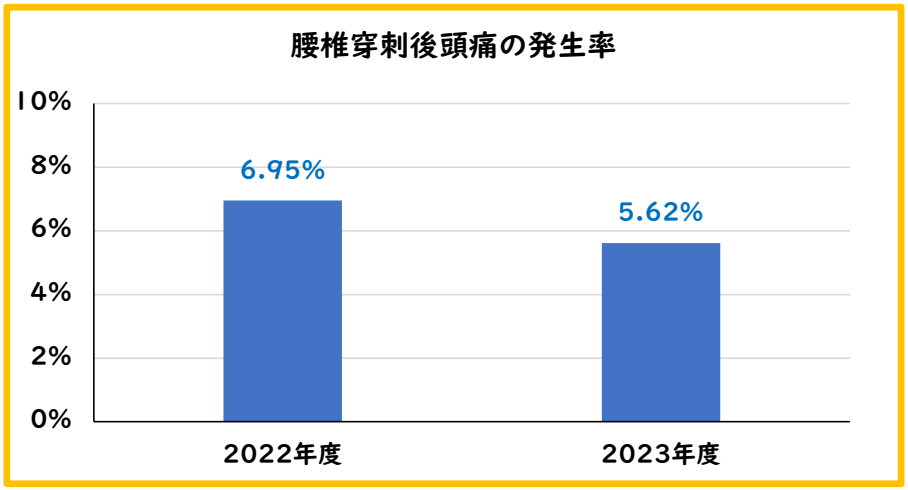
4 腰椎穿刺後頭痛の発生率

脳神経内科

◆解説◆

腰椎穿刺は外来・入院を問わず、日常的に行われる検査です。合併症の発生頻度を把握し、対応することが、医療の質や患者のQOL向上につながると考えられます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

腰椎穿刺の後に生じる頭痛（腰椎穿刺後頭痛）の当院における発生頻度は、2022年度が約7%、2023年度が約6%でした。

一般的に報告されている発生頻度（約10-40%）と比べて低く、良好な結果であったと考えております。

◆定義◆

分母：脳神経内科で施行された腰椎穿刺の件数
分子：腰椎穿刺後頭痛を生じた件数(腰椎穿刺実施の当日～翌々日に頭痛の記載がある、または鎮痛剤投与がある患者)